



グローバルサプライチェーンマネジメント／物流改革

対象となるBridgestone E8 Commitment

Energy

Ecology

Efficiency

Economy

ブリヂストンのグローバルサプライチェーンマネジメントは、ENLITENやPS高インチタイヤ拡売に対応するプレミアム生産へフォーカスすると共に、PS/TBタイヤにおいては地産地消体制を基本として推進しながら、変化や地政学リスクに迅速に、柔軟に対応することを担保するグローバル最適を志向する体制を構築しています。24MBPにおいては、地産地消率はグローバルでPS 90%、TB 80%を計画しています。

この前提の下、ブリヂストンEASTはグローバルのプレミアムタイヤ供給拠点として、グローバルへ貢献しています。特に日本は、モノづくりの中核として、PS/TBプレミアムタイヤ、高い技術力が求められる航空機/鉱山用タイヤなどを生産し、グローバルのプレミアムタイヤ事業を支える役割を担います。

● プレミアムへフォーカス／変化に対応するサプライチェーンマネジメントの構築推進

24MBP	PS 	TB 
地産地消率 (グローバル)	90%	80%
プレミアムタイヤ 生産比率 (グローバル)	ENLITEN比率(PS) 23年:4%→26年: 40% 高インチタイヤ比率(PS) 23年:45%→26年: 55%	ENLITEN比率(TB) 23年:5%→26年: 35%



地産地消体制を推進しながら、変化や地政学リスクに対応できる、**アジリティ**、**フレキシビリティ**を担保するグローバル最適を志向

ブリヂストンEAST(日本・アジア)を中核に効率的なソーシングを志向
グローバルプレミアムタイヤ供給拠点としてグローバル貢献推進

ブリヂストンEAST—成長マーケットに対応
・インドPSプレミアムタイヤ生産能力増強
⇒マーケットリーダーポジションを強化

日本を「モノづくりの中核」へ
グローバルのプレミアムタイヤ事業を支える

主な輸出商品

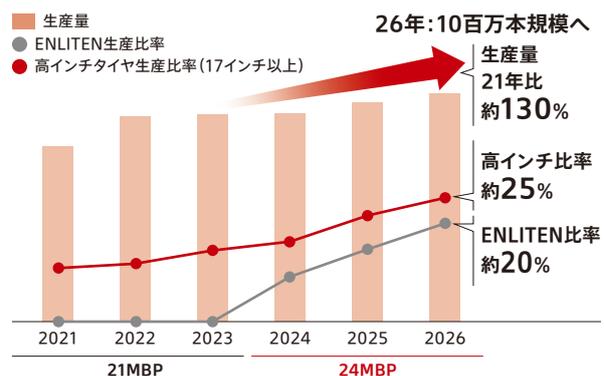
- ・技術力・総合力が求められる高難度のスペシャリティタイヤ：AC/ORタイヤ
- ・PS/TBプレミアムタイヤ

成長マーケット：インドPSプレミアムタイヤ

成長マーケットであるインドについては、PSプレミアムタイヤにおけるプレミアムタイヤ販売量アップ／販売MIXアップ／シェアアップをベースに、マーケットリーダーポジションを強固なものにするため、24MBPにて生産増強投資を実行し、26年には10百万本規模へ生産能力を拡大していきます。

ブリヂストンは、1996年にインドール工場、2013年にブネ工場を設立し、現場密着・地産地消をベースに強いビジネス基盤を構築してきました。引き続きPSプレミアムタイヤへフォーカスし、24年のENLITEN新商品投入を通じた断トツ商品強化、ファミリーチャンネル・戦略パートナーを中心としたチャンネル強化、サステナブルなグローバルモータースポーツ活動と連動したブランド力の強化を通じて、マーケットリーダーポジションを維持・強化していきます。

● インドPSプレミアムタイヤ生産 (インドール+ブネ工場)



グローバルサプライチェーン物流改革 — B-Direct

B-Directと名付けるグローバルサプライチェーン物流改革を通じて、BCMAやDXと連動し、近地生産や在庫効率化／直送率の向上、グリーン&スマート物流を実現することで、ビジネスコストダウンと社会価値・顧客価値の創造を推進していきます。

サプライチェーンの効率化(在庫削減／近地生産)

BCMA展開拡大／生産フレキシビリティUPと連動

- 需要地の近くで必要なタイヤを生産する近地生産を推進
- 生産フレキシビリティ向上により、販売タイミングと連動した効率的な生産計画の実現 → 在庫削減

お客様と工場がデータ・モノで直接繋がる

DXによるSCMのプラットフォーム強化

- お客様のシステムと在庫データを直接繋げることで、ブリヂストン工場からお客様へタイムリーなタイヤ供給を実現

グリーン&スマート物流推進

グリーン物流:

- EVトラック／倉庫への太陽光発電の設置
- 海上輸送の効率化を通じたCO₂排出量削減

スマート物流:

- 倉庫内の自動化設備導入推進
➡ 倉庫内作業の安全性向上・効率化

以上の取り組みにより、26年までに23年対比で約10%のコスト改善を計画しています。

サプライチェーン川上・川下にも効果を波及 — サプライチェーン全体での効果・効率の最大化

物流改革に加えて、サプライチェーンの川上ではグローバル調達強化を進めると共に、川下ではセルアウト管理強化による販売見込み精度改善など、サプライチェーン全体で効果・効率の最大化を追求していきます。特に日本では、AIを活用した冬タイヤ需要予測の改善を通じて、販売機会の最大化や生産との連動強化など、新たな挑戦も含めてグローバルで価値を創造していきます。

ビジネスと連動した社会価値の創出

B-Directによるサプライチェーンの効率化やグリーン物流の推進を通じて、カーボンニュートラル化などサステナビリティに貢献していきます。